

2016 年度事業報告書

2016 年 4 月 1 日から 2017 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 道普請人

1. 事業の成果

事業国	事業名	資金源
a) ケニア	若者グループに対する持続的な雇用創出と自立支援に向けた「土のう」による道路補修事業（第2フェーズ）、（N連V年目）	外務省 H27 年度 NGO 連携無償資金協力事業
	若者グループに対する持続的な雇用創出と自立支援に向けた「土のう」による道路補修事業（第3フェーズ）、（N連VI年目）	外務省 H28 年度 NGO 連携無償資金協力事業
	次世代に資源を残すために地域で取組む東アフリカ最大のマウ天然自然林保全プロジェクト（トヨタ環境 16/17）	トヨタ環境活動助成プログラム 2015 年度
	地方分権下における小規模園芸農民組織強化・振興プロジェクト、土のうによる農道整備	（独）国際協力機構（JICA）、業務実施（単独型）契約
b) タンザニア	在タンザニア日本大使館草の根事業における、施工監理	タンザニア、ムトワラ州、ネワラ県
c) ブルキナファソ	農民組織の持続的な活性化に向けた「土のう工法」を用いた農道改築事業（第2フェーズ）、（N連II年目）	外務省 H27 年度 NGO 連携無償資金協力事業
e) ルワンダ	農道整備と環境保全型農業普及による農村コミュニティ開発	（公財）日本国際協力財団 助成事業
g) エチオピア	アジスアベバ科学技術大学、エチオピア道路公社と連携した、土のうによる未舗装道路整備手法の粘性土地盤への適用性検証	京都大学
h) モザンビーク	ベンハ州、モザンビークのいのちをつなぐ会と連携した農道調査	団体自己資金
i) ミャンマー	住民の道路整備能力及び橋梁建設技術強化による農道改築事業（第3フェーズ）、（N連III年目）	外務省 H27 年度 NGO 連携無償資金協力事業
	京都大学総合生存学館海外インターンシップ支援業務	京都大学総合生存学館
	ミャンマー中央乾燥地帯における住民参加による土のうを利用した水土保全活動	（公財）日本国際協力財団 助成事業

	官民連携での地方道路整備体制確立に向けた未舗装道路改修事業	外務省 H28 年度 NGO 連携無償資金協力事業
j) 東ティモール	東ティモール国立大学工学部能力向上プロジェクト専門家（土木工学・学部運営）派遣	(独) 国際協力機構 (JICA)、委嘱業務契約
k) パプアニューギニア	外務省 NGO 連携無償資金協力事業準備調査	団体自己資金
l) パラグアイ	特定非営利活動法人ミタイ・ミタクニャイ子ども基金と連携した住民参加による未舗装道路整備	団体自己資金
m) 日本	講演、広報活動	団体自己資金

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

1. 事業名、2. 事業内容、3. 事業実施期間、4. 事業実施国・地域、5. 従事者数、6. 裨益者、7. 事業費について下記にまとめる。

a) ケニア_1, 2

(1) 国際協力の活動、(4) 経済活動の活性化を図る活動

事業名)

若者グループに対する持続的な雇用創出と自立支援に向けた「土のう」による道路補修事業 第2、3 フェーズ

事業内容)

- 若者グループに対する雇用創出と自立支援に向けた道路整備手法の現地研修の実施
- 土のう工法普及のための実演ワークショップの開催
- 若者グループの会社登録、コントラクター資格取得のための講習への参加支援
- 都市部未舗装道路（日本人学校前道路）の整備

事業期間)

2016年4月から2016年11月、2016年11月から2017年3月

実施国、地域)

ケニア共和国、ブンゴマ郡、カジアド郡、エンブ郡、タイタタベタ郡
ブシア郡、マクエニ郡、クワレ郡

従事者数)

5名（木村、喜田、本庄、深田、酒井）

裨益者)

土のうによる道路整備やその研修に参加した、ブンゴマ郡、カジアド郡、エンブ郡、タイタタベタ郡、ブシア郡、マクエニ郡、クワレ郡の若者グループメンバー750名、道路沿線住民約1,500名

事業費)

34,219,338 円 (22,696,577 円 + 11,522,761 円)

ケニア_3

(6) 環境の保全を図る活動

事業名)

次世代に資源を残すために地域で取組む東アフリカ最大のマウ天然自然林保全プロジェクト（トヨタ環境 16/17）

事業内容)

- a. 苗木づくりに向けた技術支援
- b. 苗木生産組織強化
- c. 持続的な苗木生産活動に向けた苗木販路獲得支援

事業期間)

2016年4月から2017年3月

実施国、地域)

ケニア共和国、ナクル郡

従事者数)

3名（木村、喜田、本庄、深田）

裨益者)

ナクル郡対象グループメンバー400名

事業費)

3,323,040円

ケニア_4

(1) 国際協力の活動

事業名)

地方分権下における小規模園芸農民組織強化・振興プロジェクト、土のうによる農道整備

事業内容)

- a. 農民組織への土のうによる農道整備研修教材の作成
- b. 農民組織への土のうによる農道整備研修成果の調査とその結果に基づく研修手順提案

事業期間)

2016年4月, 2017年3月

実施国、地域)

ケニア共和国、ナイロビ、ムランガ郡、マチャコス郡、エルゲヨマラケット郡

従事者数)

2名（木村、福林）

裨益者)

対象グループメンバー600名

事業費)

1,636,912円

b) タンザニア

(1) 国際協力の活動

事業名)

在タンザニア日本大使館草の根事業における、急坂部擁壁・コンクリート舗装の施工監理

事業内容)

- a. 在タンザニア日本大使館草の根事業支援を受けた、タンザニア、ムトワラ州、ネワラ県による住民参加での道路整備

事業期間)

2016年4月～2017年2月

実施国、地域)

タンザニア連合共和国、ネワラ県

従事者数)

4名(木村、酒井、田川、福林)

裨益者)

対象グループメンバー115名と沿線住民3,000人

事業費)

4,918,023 円

c) ブルキナファソ

(1) 国際協力の活動

事業名)

農民組織の持続的な活性化に向けた「土のう工法」を用いた農道改築事業 第2フェーズ

事業内容)

- a. 住民参加による農道整備の実施と技術移転
- b. 未舗装道路整備アソシエーションの設立支援と能力強化
- c. 道路管理者、行政官、NGO、ドナー機関等への土のう工法紹介

事業期間)

2016年4月から2017年3月

実施国、地域)

ブルキナファソ共和国、カスケード州コモエ県、オート・バッサン州ウエ県

従事者数)

5名(木村、森重、酒井、大東、福林)

裨益者)

土のうによる道路整備やその研修に参加した、コモエ県、ウエ県の住民100名、道路沿線住民約1,500名

事業費)

19,657,522 円

e) ルワンダ

(1) 国際協力の活動、(6) 環境の保全を図る活動

事業名)

農道整備と環境保全型農業普及による農村コミュニティ開発

事業内容)

- a. 住民参加による農道整備事業
- b. 住民参加による苗木育成事業

事業期間)

2016年4月～2017年3月

実施国、地域)

ルワンダ共和国、ブゲセラ県ニヤマタ地区、キヤゴマ村、ガケンケ県

従事者数)

5名(木村、喜田、本庄、深田、福林)

裨益者)

実施地域村の住民250人

事業費)

2,500,800円

g) エチオピア

(2) 科学技術の振興を図る活動

事業名)

アジスアベバ科学技術大学、エチオピア道路公社と連携した、土のうによる未舗装道路整備手法の粘性土地盤への適用性検証

事業内容)

- a. アジスアベバ科学技術大学、エチオピア道路公社との試験施工実施に向けた調査
- b. アジスアベバ科学技術大学構内歩道整備

事業期間)

2016年7月,2017年1月

実施国、地域)

エチオピア連邦民主共和国、アジスアベバ

従事者数)

2名(木村、福林)

裨益者)

アジスアベバ科学技術大学の教員、学生約300人

事業費)

1,133,191円

h) モザンビーク

(1) 国際協力の活動

事業名)

ベンハ州、モザンビークのいのちをつなぐ会と連携した農道調査

事業内容)

- a. ベンハ州農道状態やコミュニティ活動に関する調査

事業期間)

2016年4月

実施国、地域)

モザンビーク、ベンハ州

従事者数)

2名(木村、酒井)

裨益者)

モザンビークのいのちをつなぐ会が支援する農村部住民、約300人

事業費)

584,464円

i) ミャンマー_1, 2

(1) 国際協力の活動、(4) 経済活動の活性化を図る活動

事業名)

住民の道路整備能力及び橋梁建設技術強化による農道改築事業 第3フェーズ
官民連携での地方道路整備体制確立に向けた未舗装道路改修事業

事業内容)

a. 住民参加による農道整備、橋梁建設、CSO研修

事業期間)

2016年4月～2016年12月、2017年3月

実施国、地域)

ミャンマー連邦共和国、エーヤワディ地域、カレン州、シャン州、マグエ地域、
ネピドー連邦直轄領

従事者数)

5名(木村、酒井、田中、堀内、田川、前田、福林)

裨益者)

事業実施地域の住民約3,500人

事業費)

22,695,493円(19,986,129円+2,709,364円)

ミャンマー_3

(5) 社会教育の推進を図る活動

事業名)

京都大学総合生存学館海外インターンシップ支援業務

事業内容)

a. 京都大学総合生存学館海外インターンシップ実施のための支援業務

事業期間)

2016年4月～2016年10月

実施国、地域)

ミャンマー連邦共和国、ネピドー連邦直轄領

従事者数)

2名（木村、酒井）

裨益者)

インターンシップ生 12名、受入農村の住民約 300人

事業費)

738,377円

ミャンマー_4

(1) 国際協力の活動

事業名)

ミャンマー中央乾燥地帯における住民参加による土のうを利用した水土保持活動

事業内容)

- a. 住民参加による土のう垣、小規模ため池の設置
- b. 住民参加による苗木育成や植林

事業期間)

2016年4月～2017年3月

実施国、地域)

ミャンマー連邦共和国、マグエ地域、ミンカン村、ポレロン村、ターポ村、レマ村、タマ村

従事者数)

4名（木村、酒井、田中、田川）

裨益者)

実施地域村の住民約 2,000人

事業費)

2,017,441円

j) 東ティモール

(1) 国際協力の活動、(2) 科学技術の振興を図る活動

事業名)

JICA 東ティモール国立大学工学部能力向上プロジェクトへの専門家派遣

事業内容)

- a. 工学部、土木工学科運営支援

事業期間)

2017年2月

実施国、地域)

東ティモール民主共和国、ヘラ

従事者数)

2名（木村、福林）

裨益者)

大学の教員、学生約 200人

事業費)

230,506円

k) パプアニューギニア

(1) 国際協力の活動

事業名)

外務省 NGO 連携無償資金協力事業準備調査

事業内容)

a. ブーゲンビル州における現地材料、住民参加による農道整備事業実施に向けた準備調査

事業期間)

2016年5月

実施国、地域)

パプアニューギニア、ブーゲンビル州、ブカ島

従事者数)

2名(木村、福林)

裨益者)

ブカ県レケ村、ノバ村、ハンガン村の住民約600人

事業費)

508,194円

l) パラグアイ

(1) 国際協力の活動

事業名)

特定非営利活動法人ミタイ・ミタクニヤイ子ども基金と連携した住民参加による未舗装道路整備

事業内容)

a. 住民参加による土のうを利用した農道整備

事業期間)

2016年4月～2017年3月

実施国、地域)

パラグアイ共和国カアグス県

従事者数)

1名(木村)

裨益者)

カアグス県対象村の住民約200人

事業費)

150,000円

n) 国内

(1) 国際協力の活動、(5) 社会教育の推進を図る活動

事業名)

国内・講演・広報など共通事業

事業内容)

a. 各地で講演会、展示会、広報資料作成、配布

事業期間)

2016年4月～2017年3月

実施国、地域)

日本国内

従事者数)

9名(木村、岸田、日下部、児島、瀧川、田中、酒井、福林、須摩谷)

裨益者)

国内、不特定多数

事業費)

5,696,548円

2016 年度上半期活動内容

主な活動	2016					
	4	5	6	7	8	9
ケニア						
外務省 H27 年度 NGO 連携無償資金協力事業（木村、喜田、本庄、深田）						
トヨタ環境活動助成、環境保全プロジェクト（喜田、本庄、深田）						
日本人学校前道路補修工事（木村、喜田、本庄、深田）						
タンザニア						
在タンザニア日本大使館轄の根無償資金協力事業での道路改修施工監督（木村、酒井、田川、福林）		—				—
ルワンダ						
日本国際協力財団助成、農道整備の試験施工と環境保全型農業研修（木村、喜田、本庄、深田）				—		
ブルキナファソ						
外務省 H27 年度 NGO 連携無償資金協力事業（木村、森重、酒井、田川）						
モザンビーク						
ベンハ州にて寺子屋を運営する日本人と協力した農道調査（木村、酒井）	—					
ミャンマー						
外務省 H27 年度 NGO 連携無償資金協力事業（木村、酒井、田中、堀内、田川）						
日本国際協力財団助成、土のうを利用したため池、土壌流亡防止対策（木村、酒井、田中、堀内、田川）						
フィリピン						
他 NPO 実施外務省 H27 年度 NGO 連携無償資金協力事業で、専門家として農道橋部調査（福林）				—		
パプアニューギニア						
小島しよ部、ブーゲンビル自治州での事業形成に向けた現地調査業務（木村、福林）		—				
国内						
広報活動（木村、岸田、日下部、田中（稔）、瀧川、児島、福林、酒井、須摩谷）						

農村部の貧困に苦しむ人々の
やる気と自信を引き出すために

「自分たちの道は自分たちで直せる」

という意識を広げたい

2016 年度上期活動概要



(C) UNDP TOKYO

国連開発計画・親善大使、紺野美沙子氏が土のう工法を体験（ケニア）



認定 NPO 法人

みちぶしんびと
道普請人

助成事業等

事業名：若者グループに対する持続的な雇用創出と自立支援に向けた「土のう」による道路補修事業（第 2 フェーズ）

資金協力団体：外務省、平成 27 年度日本 NGO 連携無償資金協力

事業期間：2015 年 11 月から 2016 年 11 月（ケニア）

事業名：次世代に資源を残すために地域で取組む東アフリカ最大のマウ天然林保全プロジェクト

助成団体：「トヨタ環境活動助成プログラム」2015 年度

事業期間：2016 年 1 月から 2017 年 12 月（ケニア）

事業名：農民組織の持続的な活性化に向けた「土のう工法」を用いた農道改築事業 第 2 フェーズ

資金協力団体：外務省、平成 27 年度日本 NGO 連携無償資金協力

事業期間：2016 年 2 月から 2017 年 2 月（ブルキナファソ）

事業名：農道整備と環境保全型農業普及による農村コミュニティ開発

資金協力団体：財団法人日本国際協力財団

事業期間：2016 年 4 月から 2017 年 3 月（ルワンダ）

事業名：農村部における住民グループを対象とした未舗装道路整備能力強化事業

資金協力団体：外務省、平成 27 年度日本 NGO 連携無償資金協力

事業期間：2015 年 12 月から 2016 年 12 月（ミャンマー）

事業名：ミャンマー中央乾燥地帯における住民参加による土のうを利用した水土保全活動

資金協力団体：財団法人日本国際協力財団

事業期間：2016 年 4 月から 2017 年 3 月（ミャンマー）

受賞しました！

- ケニアでの活動成果（2008 年から 2014 年）をまとめた論文（「土のう工法の普及活動を通じた未舗装道路整備の BOP ビジネス化」福林、本庄、木村）が、平成 27 年度土木学会論文賞を受賞しました。
- 同じくケニアでの活動成果が、NPO 法人シビル NPO 連携プラットフォーム主催 CNCP アワード 2016、ベストプラクティス部門・最優秀賞を受賞しました。

主な広報活動

日程	内容
4月27日	インターネットニュース専門局ホウドウキョク、「外務省「日本のNGO支援」で道普請人のケニア・ソマリアでの活動が紹介されました。
7月15日	ビッグイシュー日本版第291号広告、Panasonic NPOサポートファンドの助成事例として、木村理事長インタビュー記事が紹介されました。
8月4日	国際開発ジャーナル8月号に団体紹介、福林理事と酒井職員のインタビュー記事が掲載されました。
8月30日	国際開発ジャーナル9月号「論説委員の視点」にアフリカ人材育成に関する木村理事長の論説が掲載されました。
9月3日	(一社)大阪青年会議所主催の「World Expo2016心のつながりが世界を変える！」にブース出展しました。
9月11日	JICA 関西、(公財)京都府国際センター主催の国際協力ステーションで展示を行いました。

活動報告

ブルキナファソ

道路盛土による道路補修工事が無事に終了しました。盛土に小規模堤防の機能を持たせ、雨水を集めため池とすることで、水利用も便利になりました。水不足に悩む村の解決策として本団体の技術がブルキナファソ政府からも注目されています。ウエ県・ペニ市



タンザニア

急坂の続く道の補修(約550m)を地元住民とともに進めています。補修後は病人・妊婦の搬送が可能になります(在タンザニア日本国大使館 草の根無償資金協力事業、ムトワラ州)。



ケニア

1. ケニア国内4つの郡及びナイロビ日本人学校前の道路で、雇用促進に有効な技能として、土のう工法をケニア若者グループに研修する事業を行いました。エンブ郡では郡政府と連携し、池の側を通る悪路を補修しました。(H27年度外務省・日本NGO連携無償資金協力)
2. 2016年1月から、東アフリカ最大のマウ天然林の保全事業を実施しています。(トヨタ環境活動助成プログラム)
3. 2016年8月、TICAD VI(第6回アフリカ開発会議)に参加するためケニア入りされた阪神高速道路(株)一行が、土のう工法研修を視察、参加されました。
4. ジョモケニヤッタ農工大学構内の道路にて、土木工学専攻の学生らに対する道路補修研修を実施しました。



エンブ郡



ナイロビ日本人学校前道路



マウ天然林保全事業で、苗木育成、研修の様子



ルワンダ

北部ガケンケ県に於いて若者グループに対する土のう工法による農道整備研修を実施し、東部ブゲセラ県に於いて環境保全型農業研修を実施しました。



ミャンマー



1. 行政もお手上げの泥濘化した農道の一部を試験的に補修しました。雨季でも通行性が保持されています。今後付近の道路補修工事に本団体の技術が使用される可能性が高まっています。シャン州・ペコン地区(外務27年度日本NGO連携無償資金協力)
2. 土のう技術を応用した「土のう垣」が、新たな土壌保全対策として注目されています。マグエ地域・シンバウウエ地区(公益財団法人日本国際協力財団)



施工延長(2016年9月末日現在)

	累計(m)	2016年度 上期(m)
ケニア	26,577	2,079
ルワンダ	170	70
ブルキナファソ	3,585	787
ミャンマー	18,187	3,982
タンザニア	1,166	370
その他(バングラディッシュ、ザンビア、 フィリピン、ハイチ、ニューギニア、ソマリア、他)	95,374	0
合計	145,026	7,288

認定されました!

京都市より「運営組織及び事業活動が適正であり公益の増進に資する」と認定を受けました。
当団体へのご寄付は税制優遇の対象となります。
詳しくは当団体ホームページへ

問合せ先

NPO 法人 道普請人
事務局: 福林良典
Tel: 075-343-7244
E-mail: info@coreroad.org
URL: <http://coreroad.org/>

2016年度下半期活動内容

主な活動	2016			2017		
	10	11	12	1	2	3
ケニア						
外務省H27/28年度NGO連携無償資金協力事業（木村、喜田、深田）						
トヨタ環境活動助成、環境保全プロジェクト（木村、喜田、深田）						
国連人間居住計画（UNHABITAT）事業、NPO法人ピースウィンズジャパンとの難民・地元住民支援事業（喜田、深田）						
JICA, SHEPPPLUS 市場志向型農業振興プロジェクト（木村、福林）						
タンザニア						
在タンザニア日本大使館草の根無償資金協力事業での道路改修施工監督（木村、酒井、田川、福林）	—			—		
ブルキナファソ						
外務省H27年度NGO連携無償資金協力事業（木村、森重、酒井、田川、福林）						
エチオピア						
理事長を研究代表者とする科研事業での現地調査（木村、福林）				—		
ミャンマー						
外務省H27/28年度NGO連携無償資金協力事業（木村、酒井、田中、堀内、田川）				—		
日本国際協力財団助成、土のうを利用したため池、土壌流出防止対策（木村、酒井、田中、堀内、田川）						
東ティモール						
JICA 東ティモール国立大学工学部支援事業（福林）					—	
国内						
広報活動（木村、岸田、日下部、田中（稔）、瀧川、児島、福林、酒井、須摩谷）						

農村部の貧困に苦しむ人々の
やる気と自信を引き出すために

「自分たちの道は自分たちで直せる」

という意識を広げたい

2016年度下期活動概要



カクマ難民キャンプでの道路整備状況（ケニア）

助成事業等

事業名：若者グループに対する持続的な雇用創出と自立支援に向けた「土のう」による道路補修事業（第2, 3フェーズ）

資金協力団体：外務省、平成 27/28 年度日本 NGO 連携無償資金協力
事業期間：2015 年 11 月から 2016 年 11 月（第 2 フェーズ）
：2016 年 11 月から 2017 年 11 月（第 3 フェーズ）（ケニア）

事業名：次世代に資源を残すために地域で取組む東アフリカ最大のマウ天然林保全プロジェクト

助成団体：「トヨタ環境活動助成プログラム」2015 年度
事業期間：2016 年 1 月から 2017 年 12 月（ケニア）

事業名：カロベエイ居住区コミュニティ・難民への土のうによる道路整備・園芸生産に関する技能向上プロジェクト

委託団体：国連人間居住計画（UNHABITAT）事業、NPO 法人ピースウィンズジャパン
事業期間：2016 年 10 月から 2017 年 3 月（ケニア）

事業名：農民組織の持続的な活性化に向けた「土のう工法」を用いた農道改築事業 第2フェーズ

資金協力団体：外務省、平成 27 年度日本 NGO 連携無償資金協力
事業期間：2016 年 2 月から 2017 年 2 月（ブルキナファソ）

事業名：農道整備と環境保全型農業普及による農村コミュニティ開発

資金協力団体：財団法人日本国際協力財団
事業期間：2016 年 4 月から 2017 年 3 月（ルワンダ）

事業名：Project for the Road Rehabilitation of Mkoma II Sokoni-Lihanga via Chimemena hill to Mkungu Road in Newala District, Mtwara Region

資金協力団体：在タンザニア日本大使館、草の根無償資金協力
事業期間：2016 年 4 月から 2017 年 3 月（タンザニア）

事業名：東ティモール国立大学工学部能力向上プロジェクト 2

委託団体：JICA
事業期間：2017 年 2 月（東ティモール）

事業名：農村部における住民グループを対象とした未舗装道路整備能力強化事業

資金協力団体：外務省、平成 27 年度日本 NGO 連携無償資金協力
事業期間：2015 年 12 月から 2016 年 12 月（ミャンマー）

事業名：ミャンマー中央乾燥地帯における住民参加による土のうを利用した水土保全活動

資金協力団体：財団法人日本国際協力財団
事業期間：2016 年 4 月から 2017 年 3 月（ミャンマー）



認定 NPO 法人

みちぶしんびと
道普請人

主な広報活動

日程	内容
10月2日、 11月20日	ABC 朝日放送ラジオ「ちょっといい話」に、木村理事長が出演しました。
10月11日	国際協力キャリアガイド2016~2017（国際開発ジャーナル社）の「巻頭インタビュー×7人、Global に生きる」で福林理事のインタビュー記事が掲載されました。
2月17日	ODA メールマガジン第343号、シリーズ「国際機関と開発協力」第5弾、「ILOの取組と日本の貢献」中に、道普請人のケニアでの活動が紹介されました。
2月21日	テレビ朝日「世界の村で発見！こんなところに日本人」にて、ケニアでの活動が放送されました。
3月1日	国際開発ジャーナル9月号「論説委員の視点」にNGO運営に関する木村理事長の論説が掲載されました。

活動報告

ブルキナファソ

1. 土のう工法のみならず、雨季に水没する箇所では路面を栗石敷設+コンクリートで補強しました。
2. 在ブルキナファソ日本大使にも出席いただき、竣工式を行いました。
3. インフラ省専門学校に対し、事業成果を発表しました。



ウラテンガ村での土のうを利用した盛土工施工の様子



ファラバ村、栗石+コンクリートによる水没箇所の路面補強（沈下橋）



大使を迎えての竣工式



インフラ省専門学校への研修

タンザニア

急坂の区間(約 550 m)の、コンクリート舗装を行いました(在タンザニア日本国大使館 草の根無償資金協力事業、ムトラワ州)。



コンクリート舗装の様子



施工前



大使館次席を迎えての竣工式



施工後

ケニア

1. ケニア西部ブシアカウンティにて、雇用促進に有効な技能として、土のう工法を若者グループに実地研修しました。
2. 整備道路沿線の小学校にて、公共心の醸成に向けた環境教育を実施しました。
3. ナクルカウンティにて、アグロフォレストリー研修を行いました。
4. トウルカナカウンティ、カクマにて、難民キャンプと地元住民のための土のう工法研修を通じた生活インフラ整備を行いました。



小学校での出前授業後、寄贈したゴミ箱を利用し清掃活動を行う様子



地元住民への道路整備研修



カウンティエンジニアによる指導状況

ミャンマー



土のうによる、盛土工法面保護



カルバート設置



ネピドー連邦領、地域開発局職員やエンジニアへの工法紹介



ネピドー連邦領、地域開発局職員やエンジニアへのデモ研修

1. 土のう工法、盛土、コンクリート舗装、カルバート設置など多様な工種を駆使し、住民とともに農道改修が行われました。
2. 地域開発局に対し、この3年間に実施してきた工法の紹介、研修が行われました。

施工延長(2017年3月末日現在)

	累計(m)	2016年度 下期(m)
ケニア	28,208	1,631
ブルキナファソ	5,409	1,857
ミャンマー	18,187	0
タンザニア	1,446	280
その他(バングラディッシュ、ザンビア、 フィリピン、ハイチ、ニューギニア、ソマリア、他)	95,544	0
合計	148,794	3,768

道普請人は認定NPO法人です。問合せ先

京都市より「運営組織及び事業活動が適正であり公益の増進に資する」と認定を受けました。

当団体へのご寄付は税制優遇の対象となります。

詳しくは当団体ホームページへ

NPO 法人 道普請人
事務局: 福林良典

Tel: 075-343-7244

E-mail: info@coreroad.org

URL: <http://coreroad.org/>